

東京大学大学院学際情報学府における「学位論文の評価の基準」について

(修士課程)

1. 学位論文が満たすべき水準

修士の学位論文を提出する者は、社会情報学あるいは学際情報学いずれかの分野における豊かな学識をもち、現代社会の問題の解決に貢献する知を創造するための方法的能力を身につけていることが求められる。修士論文は、申請者がこれらの学識と能力を習得したことを明確に示しているかを確認するために、下記の項目によって審査される。

2. 審査委員の体制

修士論文の審査は原則3名（主査1名及び副査2名）により実施する。

3. 審査の方法

論文内容の審査及び口述審査を実施する。

4. 審査項目

- 1) 先行研究の調査と理解
- 2) 研究の新規性と重要性
- 3) 研究方法の妥当性
- 4) 研究結果の信頼性
- 5) 研究倫理の遵守
- 6) 論文の形式と体裁

5. その他

修士論文に代わる特定の課題についての研究成果については、上記と同様の内容で審査を実施する。

(博士課程)

1. 学位論文が満たすべき水準

博士の学位論文を提出する者は、社会情報学あるいは学際情報学いずれかの分野における深く幅広い学識をもち、現代社会の問題の解決に貢献する理論的・実践的な知を創造する能力を身につけていることが求められる。博士論文は、申請者がこれらの学識と能力を習得したことを明確に示しているかを確認するために、下記の項目によって審査される。

2. 審査委員の体制

博士論文の審査は原則5名（主査1名及び副査4名）により実施する。

3. 審査の方法

論文内容の審査及び口述審査を実施する。

4. 審査項目

- 1) 先行研究調査の網羅性
- 2) 研究の独創性と重要性
- 3) 研究方法の妥当性
- 4) 研究結果の信頼性
- 5) 研究成果の学術的貢献度
- 6) 研究倫理の遵守
- 7) 論文の形式と体裁

5. その他